

四日市市立山手中学校 3年 竹野 広翔「これからをどうつなぐか」

私が思い描く「こんな三重県にしていきたい」という姿は、昔のよさを大切にしながら新しいことにも挑戦し続ける県です。社会は時代と共に変化していきますが、変わることを恐れず、同時に受け継いできたものを守ることがこれからの三重県には必要だと思います。

例えば三重県には伊勢神宮や熊野古道など全国、そして世界に誇れる歴史や文化があります。これらは長い年月をかけて守られてきた大切な財産です。しかし私たちのような若い世代にとっては身近に感じにくいこともあると思います。そこで学校での学びや体験活動を活かして実際に訪れたり調べる機会を増やすことが大切だと考えました。実際に足を運び、自分の目で見たり話を聞くことで教科書では分からない価値や魅力に気づくことが出来ると思います。さらに、観光の面でも今の時代に合わせて SNS を活用していくことが重要だと思います。若い世代はスマホを使う機会が多いため、三重県の魅力を発信することでより多くの人に興味をもってもらい、魅力を知ってもらえるはずです。地元の人が発信する言葉や写真には実際に住んでいるからこそその説得力があります。そのような発信が増えることで、三重県を訪れたいと思う人も増えると思います。

一五〇年間受け継がれてきた三重県の歩みは、先人の努力によって積み重ねられています。一五〇周年という節目を迎えた今私たちのような若い世代が三重県のよさを一人一人が知り、これからの三重にもそのよさを残しながら広めていく、そのような三重県にしていきたいです。